

檀信徒各位

## 春季彼岸法要のご案内

聖名 長期予報では暖冬といわれながら、今年の冬は厳しい寒さとなりました。ようやく春らしい陽気となってまいりました。

さて、例年3月の「春季彼岸法要」を迎えることになりました。

ご多忙の折柄、恐縮乍ら、何卒万障お繰り合わせご参詣下さいますよう、ご案内申し上げます。 合掌

平成25年3月上浣

無量寺 住職 堤 俊翁 拜

### 記

※期 日 3月20日(水) 春分の日

※時 間 午後1時より音楽法要、ご回向

午後2時より法話と歌唱指導(音楽法要の曲等)

※布教師 住職 堤 俊翁



※ご回向料

普通回向 1霊 1,000円以上

※お供え米、お供え米料 随意ご志納下さい。

毎日の本尊様のお供え、お花代等にさせていただきます。

※郵便振替等で申し込まれる方も位牌型をお送り下さい。

※お袈裟をお持ちの方は着用の上、法要にご参加下さい。

# 法然上人絵伝

第三卷第四段

勢至丸、功德院で剃髪大乘戒を受け僧になる

久安三（一一四七）年四月八日、勢至丸は功德院を訪ね、院主皇円阿闍梨のもとで修行することになった。叡山の夏は短く冬の訪れは早い。庭一面の雪化粧の中十一月八日、勢至丸は皇円阿闍梨の

こうりん

すすめで剃髪をした。はりつめた空気の中で剃髪の儀は行われた。僧侶たちが見守る中、手紙を読んでいるのは皇円阿闍梨であろう。どこことなく微笑んでいるようだ。すばらしい少年が剃髪をすまし、これから戒壇院で大乘戒を受ける事になる。その用意がととのったことを告げて来たのであろう。

大乘戒は僧侶になる人々が守る厳しい規則である。この約束を守って一人前の僧侶となる。

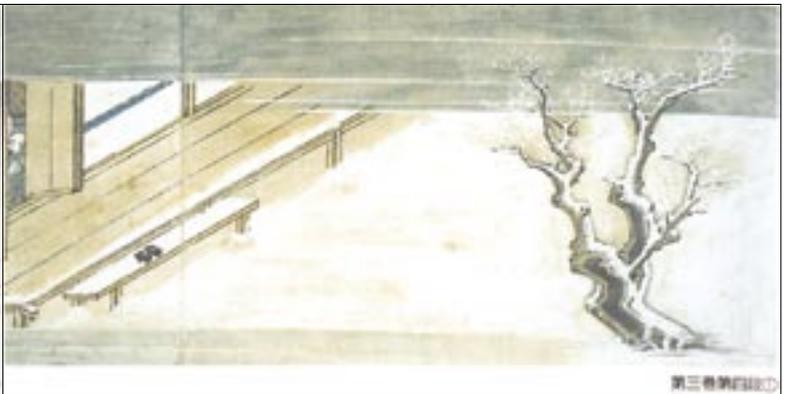
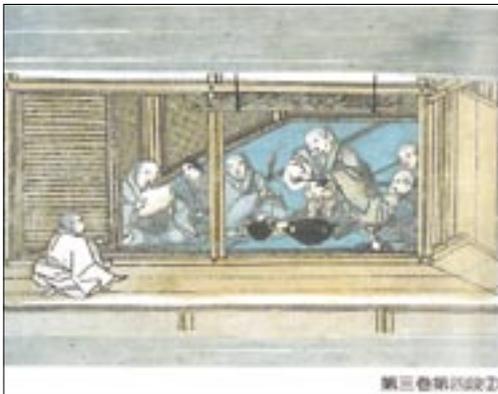
希望通りに僧侶となった勢至丸であったが、早くから隠遁の志が強く、だれもが望む出世などは考えなかった。

第 76 号  
当時比叡山で出世するには、ある程度の身分がなければならな

かった。学問を深め、修行を積んでさとりを体得する僧侶の世界でありながら、ここでも当時の社会と同様家柄が大きく左右していた。その姿をまともに見た法然上人は、ますます隠遁の志を強め、

ある時師僧の皇円阿闍梨にそのことを告げた。

皇円阿闍梨は、「たとえ隠遁の志があつても、まだろくな勉強もしていないではないか。そんなことをいうより、まず基礎となる天台宗の六十巻を読め。その上で考えよ」と戒めた。この六十巻というのは天台三大部と呼ばれるもので、『法華玄義』二十巻、『法華文句』二十巻、『摩訶止観』二十巻をいう。勢至丸は「自分が閑居を願ひ出したのは、ながく名利の望みをやめて、静かに仏法を学ぶためである」といい、十六歳から天台三大部を読み始め、三年間ですべて読破した。普通の僧侶には考えられない。



## 釈尊の生涯

親類との再会

帰った釈尊は、人々から非常に尊敬の心をもって迎えられた。この時、実子ラーフラ、異母弟ナンダ、従弟のアーナンダ始め、理髪師のウパーリなどが出家し、僧老父王とラーフラの母は深く帰依した。この時、帰依したシヤカ族は五百人に達したと伝えられている。そのうち養母は出家の堅い決意を申し出るにいたった。異母弟ナンダは出家しながらも心を世俗に通わしたので釈尊に強く叱責された。その後、彼は釈尊の指導を受けて自分の非に気づき、華美と愛欲へ走る心をよく制御し、あらゆる誘惑にうちかつ強い意志の人となり、尊敬を集めた。

また物心ついてから初対面の父によつて出家させられたラーフラは非常に温順な人で、ある時、托鉢中に頭を打たれたて血を流したり、鉢のなかに砂をいれられることもあったが、彼は怒りの炎に燃えない忍耐強い人となった。シヤカ族に仕えていた理髪師の子ウアパーリは、釈尊の戒めを守り抜いた人として、持戒第一の誉れが高かった。

# 浄土宗 久留米門中寺院 年番御忌法要 平成 25 年 5 月 19 日（日曜日） 厳修

文政 11 年（1828）から浄土宗久留米門中寺院 7 か寺

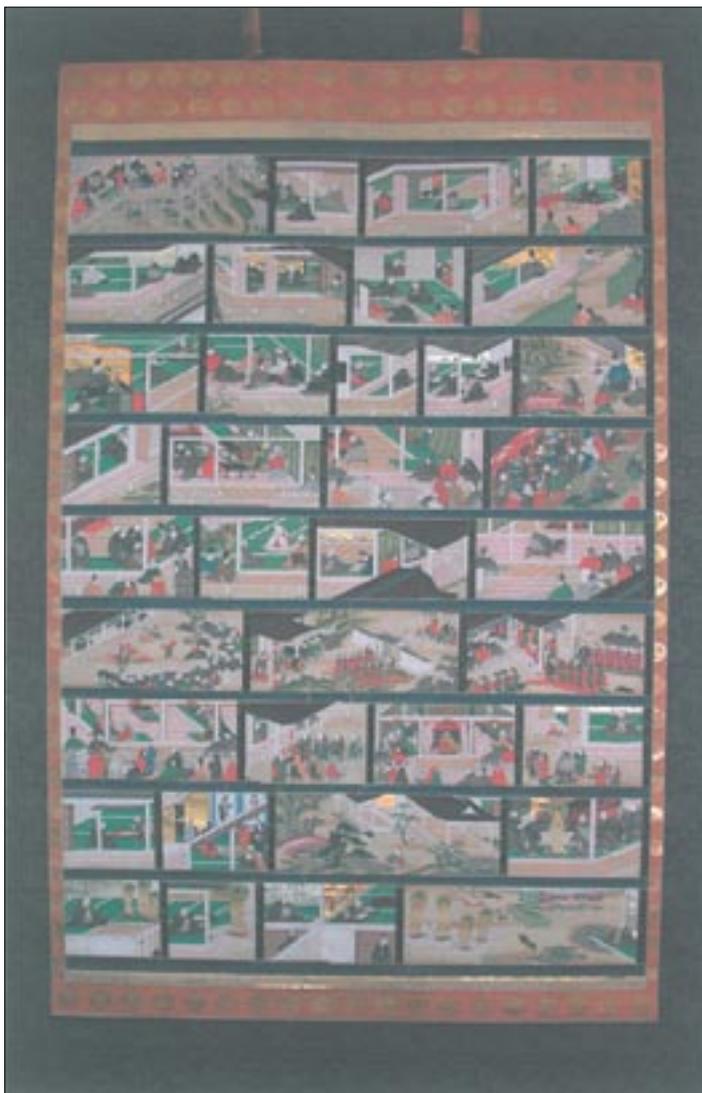
（無量寺、西岸寺、池青寺、宗安寺、心光寺、西方寺、善福寺）

合同で法然上人の御忌法要を勤めてきました。

宮中より賜った六幅の法然上人一代記御絵伝を祀って、回り持ちで  
毎年行われています。この御絵伝は年に一度だけ開帳されるものです。

今年は無量寺が当番寺院です。

おまいり下さいますようお願いいたします。後日ご案内いたします。



浄土宗 久留米門中寺院 秘蔵  
法然上人御一代記絵巻 六巻の内の一巻

# 大本山善導寺

元祖法然上人 800年大遠忌法要  
二祖聖光上人御生誕 850年・国指定重要文化財大庫裏他六棟落慶  
平成25年4月12日(金)~16日(火)



## 法要日程表

- 4月12日(金) 元祖法然上人 800年大遠忌法要
  - 開白布教 9:30 開白法要 10:30
  - 講演会 12:40 西館好子氏
  - 逮夜法要 14:00
- 4月13日(土) 二祖聖光上人御生誕 850年法要
  - 日中布教 9:40 日中法要 11:00
  - 庭儀式 12:00 庭儀式お下り(稚児行列)
  - 講演会 12:40 藤村志保氏 女優
  - 逮夜法要 14:00 別時念佛会 18:00
- 4月14日(日) 国指定重要文化財大庫裏他六棟落慶法要
  - 晨朝法話 7:00 日中布教 9:50
  - 庭儀式 10:20 庭儀式お上り(稚児行列)
  - 開眼式 10:45 石塔開眼式
  - 日中法要 11:00
  - 箏曲奉納 13:00
  - 音楽法要 14:00
- 4月15日(月) 吉水講 詠唱奉納大会
  - 開白法要 9:30
  - 詠唱奉納 10:30
  - 結願法要 16:00
- 4月16日(火) 吉水講 詠唱奉納大会
  - 開白法要 9:30
  - 詠唱奉納 10:30
  - 結願法要 16:00

## 大楠の周りに九州内外の仏様がズラリ！ 「九州お念仏むすび」



機関紙「聖光」創刊以来、約25年にわたり取材してきました九州各地のご寺院の仏様を写真パネルにして一同にお招きいたします。場所は境内のメイン会場となる大楠の周りをぐるりと取り囲み、その数約800躰となります。元祖法然上人800年大遠忌、二祖聖光上人御生誕850年。この法縁に結ばれて、お念仏の輪を更に大きくいたしましょう。

大本山善導寺 機関紙「聖光」  
編集委員会 大遠忌企画